

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 8月 8日

議 会 議 長 様

議席番号 3 番

議員氏名 富 澤 義 之

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 施設使用料の有料化は	現在、小中学校の体育館にエアコンの設置がすすめられています。これまでは、地域の方々に対して体育館を無料で貸し出してきましたが、今後は施設の設備も向上する中で、一定の施設使用料を頂くべきではないかと考えています。 また、西仮グラウンドをはじめ、町が所有・管理している他のグラウンドについても同様です。整備や日々の管理、土地の使用に関わるコストを考えれば、使用料を頂く仕組みに移行することは、むしろ妥当ではないかと考えています。 そこで、以下伺います。 (1) 現在、体育館の電気料金や貸し出している器具の管理費用などはどこが負担しているのか。 (2) グラウンドの管理に年間どのくらいかかっているのか。 (3) 公民館やココティすぎと、公園など施設使用料がかかるものと、体育館やグラウンドなど無料で貸し出しするものでは、それぞれ条例や規則等により定められているが、有料化へ向けた手続きにはどのようなものがあるのか。 (4) 有料化をすることになった場合、使用料の徴収はいつごろから対応可能か。	町長 副町長 教育長 総合政策課長 教育総務課長 社会教育課長 担当課長

8月 8日 午前・午後 4時11分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 消防団員の成り手不足の解消は	現在、全国的に消防団員の確保が困難となっており、当町においても同様の課題を抱えていると認識しています。特に若手の団員の確保が難しく、現役団員の高齢化も進んでおります。 その背景にはいくつかの要因があります。消防団は、有事の際には昼夜を問わず出動が求められます。火災だけでなく、台風や地震など、災害時にも即応が必要です。 しかし、実際には町外に勤務している方が多く、日中に町内で活動できる人材が限られているのが現状です。また、町内に勤務している方であっても、仕事の途中に会社を抜けて出動することが難しいという事情があります。 これでは、地域の安全を守るために参加したくても参加できない、というジレンマが生じてしまいます。 以上のことから、確認も兼ねて、以下伺います。 (1) 当町における消防団員の確保状況と課題認識について、町はどのように捉えているのか。 (2) 町内企業からの団員確保に向けて、何らかの支援策やインセンティブ制度を検討する考えはあるか。 (3) 消防団協力事業所制度の導入や拡充について、町としてどのように取り組んでいくのか。	町長 副町長 危機管理課長 担当課長